

令和 7 年度補正予算（案） 主要施策について

令和 7 年 1 1 月
環 境 省



断熱窓改修含む住宅の脱炭素化による物価高への対応



単位：億円 *経産省事業900億円を含む

事 項	R4補正	R5補正	R6補正	R7補正	計
断熱窓への改修促進	1,000*	1,350	1,350	1,125	4,825
住宅・建築物の脱炭素化(うちGX志向型住宅導入支援)	—	—	500	750	1,250

①メリット（両事業共通）

- 省エネ化による光熱費削減
- 暮らしの質の向上
(快適な室温、ヒートショックリスクの軽減など)
- CO2削減

②活用実績（見込み含む）

- 断熱窓 約89万戸（3年間）
- GX志向型住宅 約3万戸（1年間）

③効果（両事業合計）

- 光熱費削減 **約179億円／年**
(窓：約158億円／年、GX志向型住宅：約21億円／年)
- 全国で活用され、一部の流通・施工店等にも経済効果。
- 3年間で**合計7千億円程度**の官民投資。サプライチェーン全体における高性能な建材・住宅設備の供給拡大を促進。



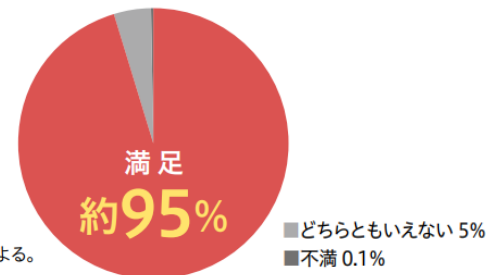
手軽に実施可能＆満足度も非常に高い
窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した消費者の
約**95%**が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2024事業を活用した消費者向けの調査(環境省実施)の結果による。

<主な感想>

冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。



プラスチック・金属などの再資源化に対する投資促進支援



単位：億円

	R6補正	R7当初	計
エネ特会	17	83	100
GX	-	150	150
合計	17	233	250



R7補正
31
-
31

(事例 1) 使用済み自動車の自動解体

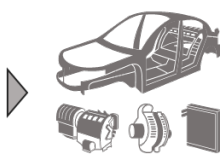
精密な作業を実現する技術 AI活用



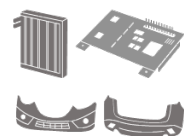
ロボットによる自動車の精緻解体技術を開発し、解体現場への実装を図る。



自動精緻解体

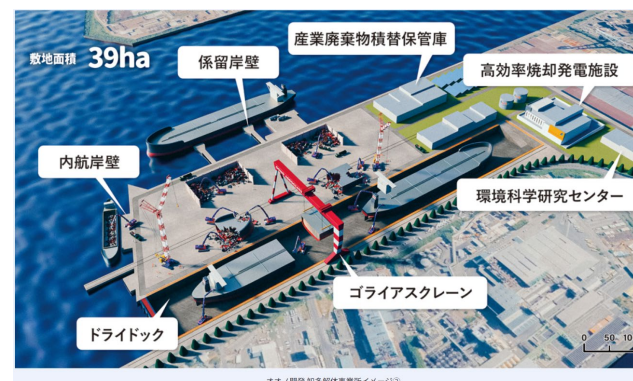


高品質な部品回収



高品質な再生材回収

(事例 2) 使用済船舶のリサイクル



使用済の大型船舶を解撤し、鉄鋼メーカーに高品質な鉄スクラップを供給する事業。



リチウムイオン電池等の火災事故対策

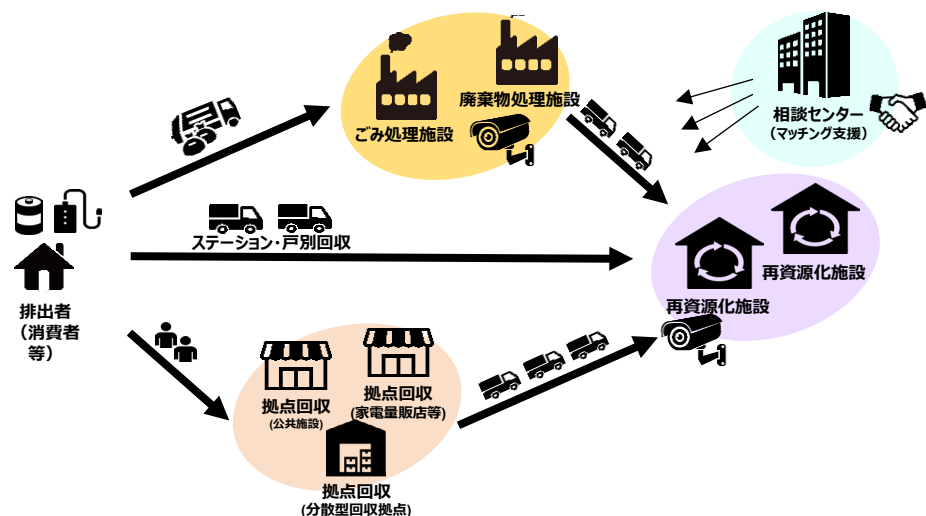
単位：億円

事 項	R6補正	R7当初	R7補正
リチウムイオン電池等の火災事故防止・分別回収による安全・経済損失防止対策事業		1	13
(1) リチウムイオン電池等の回収体制構築に向けた検討	-	1	5
(2) 廃棄物処理施設等における火災防止等設備導入促進事業	-	-	8

- (1) 市町村や民間の廃棄物処理施設等でリチウムイオン電池(LiB)の分別回収等の体制構築を行う。
 (2) 民間の廃棄物処理場において、他廃棄物に混入したLiBを特定する高度選別機や発火検知連携システム等の導入を支援する。

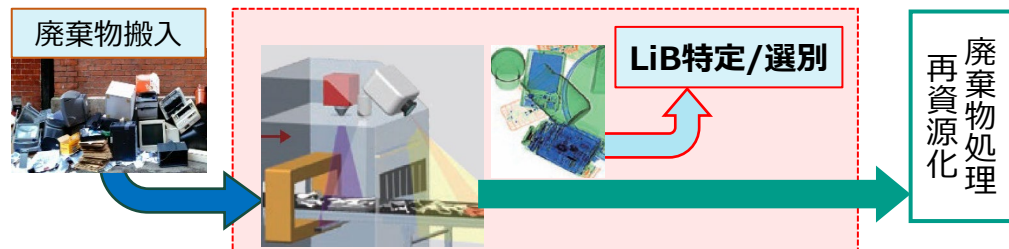
(1) 回収体制構築検討

- LiB等の回収量等の実態調査を実施し、回収拠点の拡大・相談センター構築のための検討する。

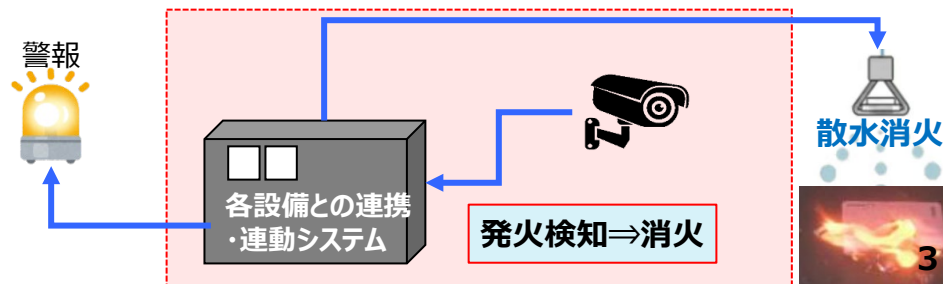


【新規】(2) 火災防止等設備導入促進事業

- 混入したLiBを検知し処理工程から選別する高度設備導入を支援



- 発火検知から瞬時に消火可能なシステムの導入を支援



クマ対策（クマ被害対策パッケージ関連）

単位：億円

事 項	R6補正	R7当初	R7補正
指定管理鳥獣対策事業等(クマ類・ニホンジカ・イノシシ)	26	9	55
【うちクマ対策】	5	1	34
（内訳）			
①交付金事業(緊急銃猟捕獲、ガバメントハンターの配置等)	4	1	28
②国による個体数推定調査等	1	-	5
③国立公園における対策	-	-	1

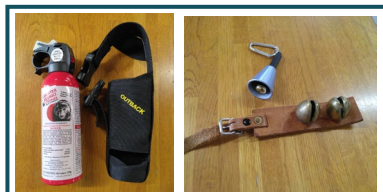
①交付金事業

地方自治体が行うクマ類の捕獲や人材育成等の被害防止対策への支援

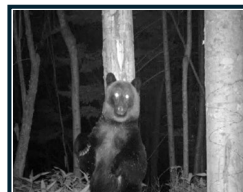
- ・ガバメントハンター人件費
- ・狩猟団体等への委託費
- ・人材育成のための研修費
- ・緩衝帯整備費
- ・誘引物の撤去費
- ・ICTを活用した出没対策費
- ・クマ対策関連資機材（はこわな、電気柵、クマスプレー、安全装備等）購入費 等



捕獲に係る経費
(箱わなの設置、捕獲者に対する支援等)



クマ対策関連資機材の購入費
(クマスプレー、クマ鈴等)



ICTの活用
(自動撮影カメラによるクマの生態調査等)



放任果樹の伐採



緩衝帯の整備

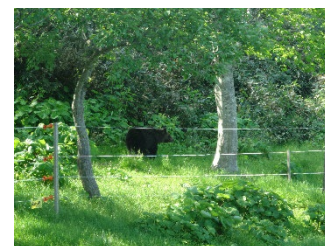
②国による個体数推定調査等

クマの個体数推定の方法・時期が都道府県により異なる

環境省が
統一的手法により
全国の個体数推定
調査等の実施

③国立公園における対策

- ・クマ出没時の対応体制構築、マニュアル策定
- ・利用者向けの情報発信、地域関係者向けの研修会の実施
- ・野営場における電気柵、フードロッカーの設置
- ・クマスプレー等の貸出



電気柵の設置



研修会開催